

【Insectopia (インセクトピア)】とは： insect (虫) と utopia (理想郷) を掛け合わせた造語
『蟲たちを含む、地球上に生きる全ての仲間が快適に生きることができる世界』を創るため、SHELLグループがお届けする情報発信ニュースレター。



FAOPMA-Pest Summit 2025

世界の最新潮流と実践的な取り組み事例

FAOPMAとは

FAOPMAは1989年に設立された、アジア・オセアニア地域におけるペストマネジメント産業の振興と発展を目的に設立された協会連盟です。そのFAOPMAが主催する「FAOPMA-Pest Summit」は、ペストマネジメント業界の最新情報や技術、知識を共有し、業界の発展に貢献することを目的に毎年開催されており、今年はマレーシア・ペナンで行われました。

FAOPMA-Pest Summit 2025メインテーマ ～From Reactive to Proactive : The Evolution of Pest Management～ (事後対応から予防へ：害虫管理の進化)

従来の「害虫が出たら駆除する」から、発生リスクを予測・抑制する、予防的管理 (Proactive Pest Management) への移行が、大会全体を中心テーマでした。このテーマに沿った様々な取り組みや知見について語られたスピーチの一部を紹介します。

蚊の駆除における革新的なアプローチ

米国カリフォルニア州のスティーブン・スー博士は、シンガポールにおけるデング熱対策として実施された、ウォルバキア菌を保有する蚊の放出による個体数の減少について報告。同国の科学研究を基盤に市民を巻き込んだ「予防型」へのシフトについても言及され、その一例として、SNSを活用した啓発活動が成功例として示されました。

トコジラミ対策戦略の進化

オーストラリアのスティーブン・ドゲット博士は、過去20年間におけるトコジラミ対策の歩みを振り返りました。かつては殺虫剤への依存が主流でしたが、現在では教育を重視し、モニタリングや新技術の導入を組み合わせることで、

より効果的な対策へと進化していると指摘。依然としてコストや普及の面で課題は残るものの、具体的な事例を交えながら、対策の方向性が「予防」と「教育」を中心とするアプローチへ移行していることを明らかにされました。

環境衛生分野における新たなビジョンと挑戦

弊社代表・岡部美楠子は、創業者から受け継いだ「世界は守るべき宝物」という信念を語りながら、これまでの事業承継の経緯を発表しました。また、一人の女性として、そして母としての視点を活かし、共感と対話型のリーダーシップの重要性に触れ、教育や予防、共生を通じて未来を築くビジョンを共有しました。



写真：スピーカーとして登壇する、弊社代表・岡部美楠子

世界の潮流は「事後対応」から「予防」へ

「予防」への潮流を体感したFAOPMA-Pest Summit 2025。より詳細なレポートを弊社代表岡部が記事としてまとめています。ご興味ある方は是非ご覧ください。

<https://note.com/okb375/n/n3ffc5f656338>



『species (スピーシーズ)』始動！

8thCAL株式会社は、生物多様性や都市環境などを、横断的に見つめ直すインタビューサイト『species (スピーシーズ)』を公開しました。このサイトでは、研究者、医療関係者、建築家、デザイナーなど、さまざまな分野の専門家が、「人間もまた無数に存在する“種 (species)”のひとつである」という視点から、多様な生命との関係性を静かに観察し、語り合います。

このメディアを通じて、私たちが地球上の“いのち”とどのように共に生きていけるのかを考えるきっかけを届けていきたいと考えています。

『species』とは

『species』は、生態系・衛生・まちづくり・文化・教育といった多様な分野のあいだに潜む“見えにくい問い”に光を当てる観察型メディアです。

自然科学や人類学、建築、アート、環境衛生などの領域を横断し、「種と種」「都市と自然」「人間と他の生命」の関係を探求します。すべてのインタビューは日本語・英語のバイリンガルで展開し、文章・動画・音声など多様な形式で発信していきます。

このプロジェクトは、建物管理や都市衛生の現場から“共生的都市設計”を構想してきたシェル商事株式会社の知見を活かし、その実験的な展開を担う8thCAL株式会社が企画・運営。産業と文化、科学と思想の間にある隔たりを超え、未来の都市と自然の関係を再構築するための「静かなメディア」として誕生しました。

species

掲載インタビューの紹介（一部）

- ・電気工事を超えて “人の在り方”を考え続ける
— 株式会社ソウワ・ディライト 代表取締役
- ・動物園からはじまる 子どもと野生動物が生きる未来の地球環境
— よこはま動物園ズーラシア 園長
- ・暗黒の狩人
— ガロアムシ
- ・PCO制度の歩みと、制度なき現場から見た日本の衛生課題
— 農学博士
- ・都市を呼吸させる “街の内と外”をつなぐ視点
— 市街地開発(株) 専務取締役

今後も多様な専門家、有識者のインタビューを追加予定です。是非『species』で“観察録”をお楽しみください！
『species』サイトURLはこちら
▶▶<https://species.design>



今月のInsect



写真/解説
中峰 空
8thCAL技術顧問
箕面公園昆虫館館長



ハンミョウ
(斑猫)

甲虫目ハンミョウ科
学名：Sophidela japonica

体長18～22mm。本州、四国、九州に分布する日本固有種かつ日本を代表する美麗甲虫の一つ。河原や荒地、社寺の境内、公園などで見られる比較的身近な昆虫である。近づくとき数m飛んで着地する行動を繰り返すことがあり、これが道案内をしているように見えることから「ミチエシ工」とも呼ばれる。

Information

●Pick up 展示会情報

害蟲展season6 開催中！
※8thCAL主催の公募展です
MATERIO base (東京)
2025年8月23日(土)～9月11日(木)
13:00～20:00 ※休館日：月・火

箕面公園昆虫館 (大阪)
2025年9月17日(水)～9月29日(月)
10:00～17:00 (入館は16:30まで) ※休館日：火

●Pick up 講演情報

第69回生活と環境全国大会 (主催：一般財団法人日本環境衛生センター)
日程：2025年10月16日(木)～10月17日(金)
会場：フォレスト仙台 (宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45)
▶▶[詳細はこちら](#)

害蟲展Instagram



公式HP



害蟲展X



Insectopia インセクトピアの配信登録はこちらから！

QRコードを読み取り後、登録フォームよりご登録ください。
ニュースリリースや採用情報、イベントなどの最新情報を
配信中です。

